

令和 8 年 1 月 15 日開催 和泉市教育委員会意見交換会並びに事前報告会要旨

出席者 大槻教育長、深堀職務代理者、西家委員、中西委員、小谷委員、木村委員

教育委員会事務局 辻教育次長、東部長、上田指導監、鍛冶次長、永井室長、西角室長、森下次長、前田室長、奥課長、濱田課長、隅埜課長、岩井課長、門林室長、福田課長

	議題	要旨
案件 1	令和 8 年度和泉市行政機構改革(案)における教育委員会所管分について	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくりや子育て施策と一体となった支援の充実が求められるなど、多様化する市民ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、効率的・効果的な行政運営を行うための機構改革を行う
案件 2	学校給食費の改定について	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米飯及び牛乳の大幅な高騰が見込まれたことから、令和 7 年度給食費を、小学校で 500 円、中学校で 590 円増額した（市が増額分を補助） ・給食で利用する各食材について、引き続き、物価高騰が見込まれ、現行の給食費では献立作成の工夫などを行ったとしても、質を維持することが困難な状況となっており、栄養価の高い給食の提供と安定的な運営を継続するため、改定が必要となる <p>○令和 8 年度給食費改定案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校：月額 5,610 円（R7 から 190 円増額） ・中学校：月額 6,330 円（R7 から 220 円増額） <p>※米飯・牛乳は、購入先である大阪府学校給食会から示される価格を反映。その他の食材は、直近の物価上昇の状況を勘案し、5%の上昇改定</p>
案件 3	学校給食費の対応について	<p>【小学校】</p> <p>○国の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初、小学校給食は令和 8 年度から国による無償化を実施するとしていたが、国の方針が「無償化」ではなく「抜本的な負担軽減」に変更となり、月額 5,200 円が国・府から補助される ・差額が発生する場合は、保護者からの徴収含め自治体判断となる <p>○対応方針（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・府の補助月額と小学校給食費月額の差「410 円」は、市が負担する

<p>案件 4</p>	<p>令和 8 年度和泉市立 学校教職員人事につ いて</p>	<p>【中学校】</p> <p>○国の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の給食無償化は、小学校に引き続き速やかに検討する方針 ・小学校の方向転換に基づく新たな方針や時期等は示されていない <p>○対応方針（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8～10 年度の間は、保護者徴収金を 5,520 円とし、令和 8 年度は、差額「810 円」を市が補助し、全学年の保護者負担軽減を実施 ・令和 9～10 年度も同様の考え方とし、5,520 円以上の保護者負担は求めない <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応方針については賛成だが、国における予算措置の動向を注視しつつ、関係各課との調整を図り対応を進めていただきたい <p>○課題</p> <p>【教職員の欠員解消及び講師の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度当初は、小学校で 1 名、中学校で 2 名の欠員（急な学級数の増加、病気休暇者が出たため） →令和 8 年 1 月時点で、中学校の非常勤講師 1 名の欠員 ・令和 8 年度当初に向けて、教職課程のある大学訪問の時期を早めて説明会を開催し、学生への勧誘を行った。また、桃山学院大学との連携を進め、市費講師においては、新たに 8 名の任用を予定 ・今年度途中から事業をスタートした、教員志望の学生を学校へ派遣し今後の教員の育成を行う、「和泉市ミライの教員育成事業」により、7 名の学生を学校へ派遣し、内 2 名を次年度の小学校の常勤講師として任用予定 <p>【女性管理職の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 28 年度 15%から令和 7 年度 23%と割合は高まってきているものの、特に中学校・義務教育学校後期課程では、10 校中、校長 1 名、教頭は 0 名となっており、女性管理職の人材育成が課題 →人事基本方針で示すとともに、日頃から管理職と情報共有を行い、校長会や人事ヒアリング等で育成・登用に向けた働きかけを引き続き行う。また、これまでの研修や学習会の充実とともに、新たなキャリア研修等の実施も検討
-------------	---	---

<p>案件5</p>	<p>和泉市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について</p>	<p>【経験の浅い教職員の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年、新規採用教職員を35名前後配置しているが、中には、病気休暇を取得したり退職する者がいる ・本人の資質や児童生徒との関係づくり、保護者対応、基本的な業務への対応など、理由は複数あるが、授業づくりや日常業務に見通しが立てらず、業務に追われるという理由による退職が最近の傾向として挙げられる <p>→市教委による学校訪問や定期的な聞き取り及び助言、初任者担当を指導する教員による支援・指導等を行っているが、より組織的な育成体制の充実を一層図ることが必要</p> <p>●委員の質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性管理職の割合について、具体的な数値目標はあるのか。 <p>→具体的な目標は設けていないが、国の方針や近隣市の状況を踏まえ、今後、人事基本方針等への記載も検討していく</p> <p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の意見交換会における意見等を踏まえ、引き続き、計画（案）について整理・検討をする <p>○前回からの主な変更点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実施する業務量管理・健康確保措置の内容」における「業務の見直し・充実等」について、国が指針で示している「学校以外が担うべき業務」、「教師以外が積極的に参画すべき業務」、「教師の業務だが、負担軽減を促進すべき業務」の3分類で整理していたものを、「業務量管理・健康確保措置」についての具体的な内容・項目としてまとめて記載 ・「学校における措置の推進」において、管理職による所属教職員の時間外在校等時間の管理・把握、長時間となっている教職員へのフォロー、勤務や休暇等に関する各制度や労働安全衛生に関する記述を追記 ・「本計画と同時に保護者等に配布予定のチラシ」において、「学校支援人材の配置」として、スクール・サポート・スタッフや特別支援教育支援員等の役割を詳しく記載 <p>●委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシにおける「勤務時間内」という表記について、具体的な時間を記載した方が保護者等にとって分かりやすいのではないか
------------	---	---

<p>案件6</p>	<p>学力向上について</p>	<p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いずみ希望塾」、「AIドリル」について、前回の意見交換会の内容や導入当時の検討内容を踏まえ、引き続き、評価分析と今後のあり方について整理・検討をする <p>●委員の意見</p> <p>(いずみ希望塾)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習や基礎・基本学習の定着に関する学校の指導意識が希薄化してきているのではないかと感じる ・施策自体は意義のあるものであり、このまま続けてほしいと思うが、目に見える結果が出るまでにはかなり時間がかかるだろう ・経済的支援を有する児童生徒だけに対象を絞る方が良いのではないか ・希望塾と学校が連携し、それぞれの取組・指導内容を共有しておくことが重要 <p>(AIドリル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AIドリルの使用に適した科目とそうでない科目の整理が必要 ・こどもが自分で学習の目標を立て、課題に取り組む力を育むための選択肢として、AIドリルがあるとよい
------------	-----------------	---